

決算等審査 特別委員会

委員長 高橋 たくみ
委員 小野寺 利裕
副委員長 高橋 たくみ

本委員会は、議会選出の監査委員を除く全議員で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内、分科会および全体会において一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、9月27日から8日間開催され、延べ99人の委員が約46時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又 隆広 委員
○地域を支える町内会の在り方とI-T活用情報の確保支援
○交通指導隊員の確保のため本市職員の参画を進めるべき
○学校トイレの洋式化を前倒し、早期に環境を改善すべき
○ICT教育で探究的な学びの充実とP・B・Lの成果発表実施
内藤 良介 委員



安心安全に運動会を開催するために重要な課題である熱中症対策を

公明党

高橋 たくみ 委員
特別支援保育施設に向けた受け皿の確保は間に合うか
公立・民間の保育所が協力し、受け入れを拡大する
特別支援保育適用の審議では、判断基準を明確にせよ
施設間で連携する等、児童を一日預けられる体制の確保を
佐々木 心 委員
昨今の暑さから子ども

立憲民主党仙台

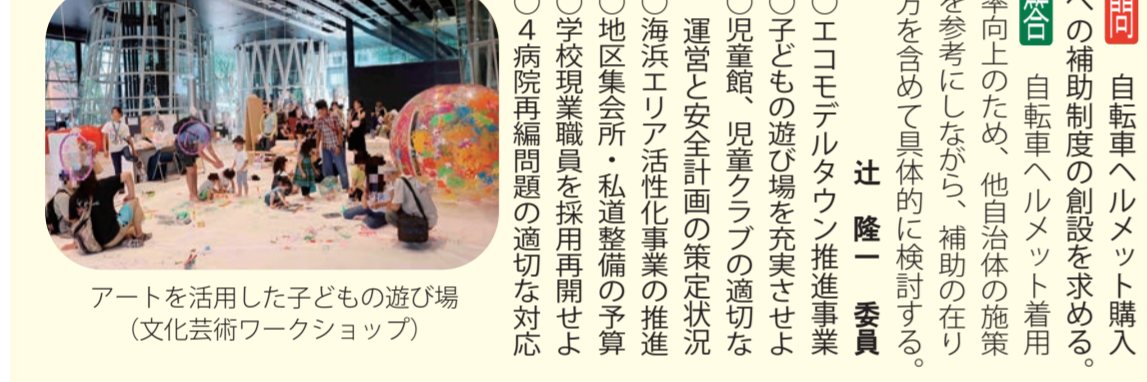
大沼 えつこ 委員
市長が就任して以降、不登校や児童虐待等は悪化し、子育て・学び・安全に関する市民意識調査はいずれも最低評価だ
地域で子どもたちの成長と子育てを応援する社会づくり等子育てが楽しいまちの実現に向けて取り組みを推進する
市民協働の基礎は地域住民
仙台駅周辺の防犯・安全対策
旧さくら野跡地再開発等で経済振興を図り、持続可能な都市経営で財政難に立ち向かえ



不登校・暴力行為・児童虐待の6年間推移
H29年度 H30年度 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度
不登校(人) 暴力行為(件) 児童虐待(件)

高見 のり子 委員
「学習・生活サポート事業」は切れ目のない支援としてさらなる周知と対象拡大を
関係部署と連携し周知する。対象拡大は年齢により必要な支援が異なるため検討する
○新型コロナウイルスの受診情報センターは相談機能を拡充すべき
○補助犬飼料給付上限引き上げ
花木 則彰 委員
児童クラブ事業費は児童館事業費と区別し、事業に係る歳入32億円以上を充てるべき
児童クラブ事業と児童館

大沼 えつこ 委員
児童生徒の新型コロナウイルス感染症の実態を把握し支援すべき
地域活動等での性別役割分担意識の解消に向けた取り組み
交通指導隊の制服の見直し
男女共同参画の施策推進
いのまた 由美 委員
地球温暖化対策の推進
後田川川の整備と維持管理
青葉通駅前エリアの広場化
音楽ホール複合施設内に広い遊び場を設け、親子連れにも親しまれる施設とすべき
ひぐち のりこ 委員
カスタマーハラスメントの被害防止の取り組みを向う
マニュアル作成等の体制整備や被害の相談対応を推進
仕事と家庭の両立支援の実施
男性の育児取得による好影響
手洗い啓発と食品衛生の業務



アートを活用した子どもの遊び場(文化芸術ワークショップ)

市民フォーラム仙台

安孫子 雅浩 委員
○多様な働き方に対応した障がい者の就労支援促進を
○市民後見人の活用促進
○認知症による高齢者の行方不明を未然に防ぐ対策
○認知症高齢者の個人賠償責任保険事業の導入(こども若者局)
○育児ヘルプサポート事業の産前申請対応徹底、産前サポートの分かりやすい周知(市民局)
○市民協働推進事業の改善(市民局・泉区)
○市民サロン運営団体へ求めた始末書への反省と謝罪(消防局)
○AED設置と講習会の拡充(教育局)

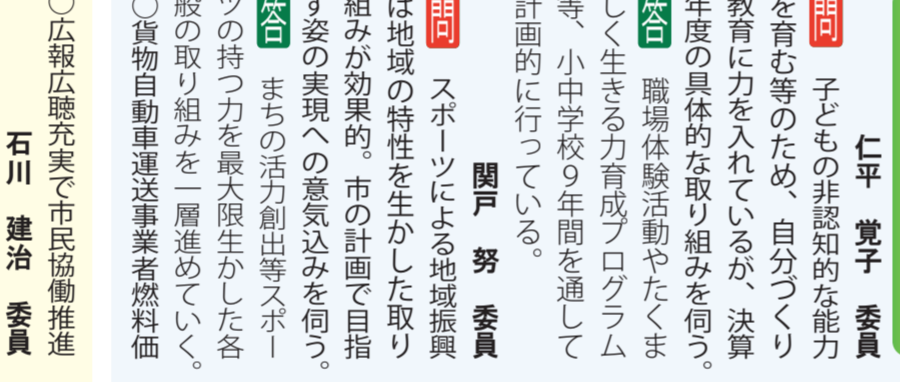
加藤 和彦 委員
○全ての屋内体育施設に空調を
○老朽化した宮城広瀬総合運動場の効果的な整備
野田 謙 委員
○高校生等へ自転車交通法令順守やマナーアップの教育啓発
○客引き対策の強化を
○物価高騰等への施策の方向性
○大規模プロジェクト推進と市民サービス向上への財政運営
○敬老乗車証は利便性向上の視点を取り入れるべき
○今後の市政運営へ市長の決意
西澤 啓文 委員
○本市の資源の米から作る米粉をパンや天ぷら粉、唐揚げ



課題が山積する学校プールの在り方を早急に検討すべき

仙台維新

仁平 寛子 委員
子どもの非認知能力を育む等のため、自分づくり教育に力を入れているが、決算年度の具体的な取り組みを向う
職場体験活動やたくま回草刈りを行うなどの徹底を
養蜂業をクマ被害から守る電気柵設置に補助金が活用できる。申請には柔軟な対応を
上で、必要な施策を検討する
○児童クラブは40人の支援単位ごとに支援員を固定すべき
すげの 直子 委員
指導補助員やスクールソーシャルワーカーの処遇改善
○緊急に学校トイレの洋式化を
○特別教室や体育館へのエアコン設置の早期実施を
○新型コロナウイルスの対策が求められた中、予定されていた特定目的基金を取り崩さなかった。市税等の歳入は市民生活支援に優先支出すべき
吉田 こう 委員
物価・エネルギー価格高騰で苦境の農業・漁業従事者へ市独自の支援策と予算拡充を
国等の状況を踏まえた



令和2年・4年・5年の太白区のクマ出没情報を示した地図

大草 よしえ 委員
仙台の未来を担う人材がイノベーションを生み出すための科学教育体制を地域資源を活用しながら構築すべき
学都仙台ならではの人づくりやまちづくりに取り組む
科学教育推進のために活用が期待されるスリーエム仙台市科学館
伊藤 ゆうた 委員
音楽ホール等複合施設で、350億円の整備費は圧縮するべき
○新本庁舎敷地内の子どもが憩う広場には喫煙所を造るべきではない



令和4年度 企業会計決算の収支状況

東城 ひろみ 委員
郡市長がパートナーシップ制度を要綱で制定すると表明した。広くLGBT当事者の意見を聞かず、条例での制定の議論もせず要綱としたのはなぜか
制度の内容は手続きの規定が中心で、導入済みの多くの自治体が要綱で制定している。本市でも要綱での制定を目指す
福田 ようすけ 委員
災害時要援護者が円滑に避難するための個別避難計画を早期に作成すべき
令和7年度までに、災害の危険度の高い地域に住む災害時要援護者全ての個別避難計画作成に着手したい
デジタル技術を活用したBPR推進による市役所業務改革

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	1,063	1,063	0
国民健康保険事業	92,570	92,049	521
中央卸売市場事業	3,304	3,304	0
公共用地先行取得事業	938	938	0
駐車場	203	203	0
公債管理	117,968	117,968	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	357	127	230
新墓園事業	724	684	40
介護保険事業	83,611	81,779	1,832
後期高齢者医療事業	13,762	13,706	56
合計	314,500	311,821	2,679

令和4年度 特別会計決算の収支状況



令和4年度 一般会計歳出決算費目別内訳

山下 純 委員
○未交付となっているマイナンバーカードの現状と受け取り時のサポート等の提案
○小中学校での置き勉の児童生徒らへの周知状況および実現に向けたロッカーの整備推進
消防団積載車更新等、売り払い方法・リサイクルの提案
ごとう 咲子 委員
市内の地下水における有機フッ素化合物の測定を拡
検査し、外部委託すべき
委託によるメリットや児童生徒の移動手段の確保等の課題を総合的に見据えながら、地域防災における役割も兼ね、在り方を検討する
○すいせん通りの歩道改修
○タイの介護人材受け入れ
○車によるオンライン診療
○相大ごみの自宅内からの搬出についての広報

予算現額	646,841
歳入決算額	A 592,710
歳出決算額	B 585,293
歳入歳出差引額	C=A-B 7,417
翌年度へ繰り越すべき財源	D 3,861
実質収支額	E=C-D 3,556

令和4年度 一般会計決算の収支状況



県が主導する4病院再編の対象となっている東北労災病院